

児童部会

(金森部会長)

それでは、児童部会を開会したいと思います。活発に意見を出していただいて、濃密な時間になれば幸いです。よろしくお願ひいたします。

「支援事業計画における「量の見込み」及び「確保方策」について」事務局よりご説明をお願いします。

(事務局)

資料3の7ページをご覧ください。計画ですが、平成26年度に作成し、平成27年度から31年度までの5か年計画になっております。平成29年度の今年度が丁度中間年になっていて必要であれば見直しを行うこととされています。32年度からは、次期計画が始まりますが、その計画策定については、31年度中にその作業を行う予定をしています、では、7ページに戻って説明をいたします。

(3) 放課後育成健全事業とは、放課後児童クラブの事業になっております。この事業は、保護者が労働等により昼間家庭に居ない小学生に対して放課後適切な遊びや生活指導の場を提供し、その健全な育成を図る為の事業となっております。今回の見直しについてですが、児童数の増加に加え利用率の上昇によりまして放課後児童クラブを利用する児童は計画策定時の見込値を大きく上回る状況となっております。表で言いますと、平成27年度の見込値は761人でしたが、実績につきましては、768人と大差がなかったのですが、今年度の平成29年度は見込値829人で実績は1000人と桁が違ってきております。平成30、31年度の増加傾向は今後も続くということで、乖離率がさらに大きくなってきてしまう為に見直しを行っていきたいということで提案をさせていただきます。その量の見込みの訂正に伴いまして、見直し後の確保の方策、そちらの方も乖離率が高いもので直させていただきたいと思っております。具体的には30、31年度について下の黄色で示した数字に直させていただきたいと思っております。この数字は利用者見込みをそのまま下げているということでご理解をいただきたいと思います。

今、追加で配させていただいた資料、施設の整備状況についてです。野々市小学校校区で言えば先ほども説明ございました今年度2クラブ分建設いたしまして、30年度に新規に開所いたしました。御園小学校校区で言いますと30年度に建設し31年度に4クラブ分開所する予定です。それに伴いまして、きのこクラブは農協の本町支店の横にありますが、借り物ということと施設の老朽化で修繕費が馬鹿にならないような状況で利用者にご迷惑をかけている状況でこここの3クラブは閉所して新しいところに行っていただければと思っております。菅原小学校区は27年度に建設して28年度に開所をすませております。こちらは先ほどいいました学校の中に建てたというものでございます。富陽小学校区につきましては、今年度4クラブ分建設いたしまして、来年度新規に開所を予定しております。こち

らにつきましては、あわだ児童クラブはこの校区の利用希望者が予想以上に増え、待機児童を発生させないということで暫定的に旧栗田保育園で2クラブ分使っていたのですけど、新しい施設ができるということでこちらの方は閉所するという予定になっております。館野小学校区ですが、今のところこの計画期間中には出来るか出来ないか予定は立っていませんが、施設の老朽化ということもあって出来る限り計画的に整備していきたいと思っております。資料の説明は以上です。

ご議論いただきたいのはお示ししたこの計画をこの黄色の部分に直おさせていただいて良いかということです。

(金森部会長)

数値、見直し後見込み 1040、1105 という当たりですね。それについて、ご意見などありますか。

(委員)

確認ですけど、利用率が大幅に増加している原因というのは、市の方でどのように考えておられますか。

(事務局)

働き方という観点もひとつ大きくあると思います。後は、やはり先ほどからの菅原からみるに、たとえば富陽が今年度整備しているように学校に近くてきれいで安全となるとやはり利用をされるということと、後は新制度が始まる 27 年度までは 3 年生、新制度が始まつてからは 6 年生までの利用が可能になりました。たとえば 4 年生の子は友達関係が構築されております。4 年になったら 5 年、5 年になったら 6 年というような連鎖的な関係で利用率が上がっていくかなということも感じております。立地的なことが一番大きい要因だと考えております。

(委員)

今回はそれを踏まえてこの数字にしたということになりますか。

(委員)

表の見方を教えていただきたいのですが、計画値を修正しましたということになっていまして、計画値が何人から何人に変わったということですか。

(事務局)

計画値というのはこの一番上の当初の計画の利用見込みになります。2 番目のところが実績と直近での利用者見込みが低学年と高学年に分けて記載してあります、一番上の欄と

下の合計欄が対比する部分になります。

(金森部会長)

見直しの乖離はなしということですね

(事務局)

そうです。乖離率がこれだけなのでこのように変えたいということです。でもこれだと、見直ししてもこの乖離率と読み取られても仕方ないですね。乖離率はこちらの表の中に入れるものではないということでした。若干補足をしますと、施設を借りているという状況で市といたしましては、年次計画的に施設整備をしてまいりたいと感じています。ですので、順番に整備をしていくということと、現実の話、議会の一般質問にもありました、菅原の学童が異常値ということで、今まで暫定的に施設を利用して、たとえば館野児童クラブさんは2クラブで定員が40のクラブではなくなったという、暫定的な処置の期間ですが、菅原に関しましては定員40の時に造ったクラブで、そこが異常値となると市もはやり定員の割合が好ましい状況ではないと感じております。議会の一般質問等々の状況も踏まえながらまず一步動いたのは、この地区には法人の和光さんも学童をしているので、そちらの方はもう少し余裕があるので、行って下さいねということを両クラブに委ねたのですが、なかなか思い通りにはならないのが現状です。和光さんの方も努力しながら増加していますが、立地的に扇が丘にある施設と学校の運動場にある施設ということと、子供たちの友達関係がある為、子供たちに急に変わってと言っても、難しいと思います。市の方で定員を決めてこれ以上入らないよう、エリア内では規模的には収まるのだから、待機児童じゃないから利用してくださいというふうなことも言われているのですが、現状オープンして異常値が出たという中で、そういうふうにはなかなか出来ないので、なんらかの方策で再度、施設を増設するとか別の所をお借りするとか、31年の場合ですが、菅原につきましては、児童数も若干減少していくような推定もあるので、その辺は乖離的なもので対応して乗り切るか、好立地でつくったところに異常値が出たと新たな課題が出たということで、ここも何とか対応していきたい。新制度での施設整備で何か考えていかないといけないという課題があります。

(委員)

いつまでに1クラブ40人にしなければならないのか？補助がなくなるとか？

(事務局)

補助はきます。菅原は新制度始まって40人なので、何年間の暫定の期間に修理しなさいよというものがあったと思います。この状況でいうと館野児童クラブさんをきっちり施設整備して正規なおおむね40人、1人当たり1.65平米を基準の中に収めながらクラブ運営を

していっていただくというようなところでございます。2パターン市は施設整備の構築は出来ていると思うのですが、1つについては土地も運営も建設もお願いしますよという公募で事業者を募集します。そこに応募してきていただいた場合、それが、今の富奥であったり来年度の御園であったりと、この地区は法人運営の方の率が高かったものでそのようになっておりますし、やはり菅原の場合は保護者運営でございました。保護者運営は支援センターを利用していただいて、老朽化の中我慢をしていただいたと思います。そこを市の予算で建設し、運営は引き続き保護者の方で運営し、クラブはその時は2クラブだったものが今は3クラブで、人数は4クラブ分の人数が居ます。県の見解では1.2倍48人くらいは中に入るのではないかという見解もございます。そのような中、本当はもう1クラブ運営をしていただいて、そこに施設希望があればというようなところで、菅原の支援員の方々と話しをしましたが、クラブ運営は別のところでしたくないわ、分かれたくないということで、それも本音のような気もします。その辺も考慮しながら検討していきたいと考えております。

(委員)

たちのクラブはご近所の方もご理解がありまして、雪の時も道路を開けていただいたりとかしたので、場所的には子供たちにとっても本町の方にとっては少し遠いですが立地的には良いところなので、農協さんの施設も老朽化といえども広くて、何をしても数多めに見ていただいているので、基準値はありますが、子供たちの生活の場や遊びの場としては良いと思っているので出来れば広さを維持して新しいものを建ててほしいです。

(事務局)

本町の方もたいぶ何人も来ていらっしゃいますか？

(委員)

本町の方も若松・横宮の方も来ています。基本的にはお迎えは車なのでそんなに負担感はないと思いますが、子供たちにとって丁度いい遊びがてらの距離なのですが、なにぶん押野の端なので。施設的には良くなれば良いと思いますが、環境的にはとってもいい所だと思っています。

(金森部会長)

少子化と言われます中で野々市市はすごい形でおそらく富陽は30年がピーク。後はまだ野々市市は904という31年は見込み数になっていますけど、今おっしゃられたように質と量との問題、質の問題としては単なる子供と施設の内側の問題だけではなく環境的に周辺の人達がどれだけ暖かい目で見、協力をしていただけるかとか、少し天気が良くなって、子どもが戸外に出た時に暖かい目で見守ってくださるかということが基本大事になってくる

ので、今保育園などを見ているとすぐ、やかましい、大変だということを聞いているので児童クラブ全体で暖かく見られるということが大事だなあと思うのでそこは、なんらかの形でPRをしていければ、施設側からもありがとう、街としてもそれが重要なのだよとありがとうとPRしていくことが大事だなあということを思いました。

(事務局)

指導員さんの質ということを先ほどからお話しがありましたけど、指導員さん同士の各クラブの繋がりはどんなふうになっていますか？

(委員)

この前、野々市市の主催ということで和泉先生に助言者として来ていただきて実践検討会をさせていただいて、その時沢山の方が来られました。全市的には初めてなのですが、菅原クラブとこうさぎクラブとたちのクラブでは週1回以上検討会をしております。他の方々にも少しずつ連携がとれるように市にお力をいただいておりますので。現任研修というのも大切だということも運営基準に書かれていますから、キャリアアップにしてもちゃんと研修を積まないと給料を上げてはいけないので、皆さん積極的に参加されていますので、是非次年度もお願いいいたします。

(事務局)

補足して言いますと、保護者運営、法人運営とはたとえば社会福祉法人のアリスさんとか久楽会とか、保護者運営は昔から連絡を取りながら上手くやっていますが、市とすれば、保護者運営の支援も法人運営の支援も子供を預かるということで関係ないので少しでも合同で研修会をしたいなあということで、今年度は合同で研修をしたり、皆さんを同じ野々市市の中でという目線でいられればなという気持ちを持って取り組んでいるところであります。

(金森部会長)

難しい子供たちが多くなった、難しい保護者も多くなったという意味では指導員に求められる指導力というのが大変になってきています。学校教育もそうですけど、学校はある意味、権力、権威というものがあったりして子供はまだ言うことを聞くのですけど、学童は素顔を出す元々安心の居場所ということで、これは皆さん大変な苦労をしています。僕は全国的にも各県にも保護者運営の勉強会に呼ばれるのですが、言ってみれば子供をどう捉えてどう指導しているかという質は、ある意味学校教員よりレベルが高いのではないかと思います。そのくらい、皆さん大変な中で勉強しているのです。子供個人の生きる物語をしっかりと書いて勉強しているという意味ではこっちの方が感心しています。今回野々市では行政として合同の指導員研修会をもたれたということは、非常に大事なことですね。

(事務局)

来年度も継続的にやっていきたいなと考えております。

(委員)

この表の見方で混合と書いてありますが、野々市小学校区と御園小学校区はいつまでもずっと残るのですか？

(事務局)

出来れば是正していただけたらなあと思うのですけど、やっぱり友達関係とかも出来ている方もいらっしゃるし、家が近くという方もいらっしゃると思うのでここ1、2年で急にというのは難しく、やるとしても徐々にというやり方かなあと思っています。

(金森部会長)

子供にとっては横の繋がり人間関係が非常に大事になってきますからね。

質の方の話になったのですけど、先ほど是非検討していただきたいという見込数の見直しですね、見直し後の見込数ということで29年度が1000から1040, 1105という数字になっております。下の方にも方策ということで、書かれております。この数字はこれでよろしいでしょうか？

ないようならば、見直しはこれでよしということで。今回質にも関わったご意見等も出たのですけど、他にも何かありますか？

(事務局)

資料3の9ページにも児童部会として見直しを審議していただきたいと思いましてよろしくお願ひいたします。(5)のショートステイを事務局からご説明いたします。

9ページの一番上。(5)番、子育て短期支援事業、ショートステイについてであります。保護者の疾病や冠婚葬祭などで家庭において養育を受けることが一時的に困難になった児童につきまして児童養護施設などで短期間7日以内の宿泊を含めて保育を行う事業であります。見直しについてでありますが、定期的な利用者がいない為、年度によって利用日数に増減があります。見込量を正確に算出することは難しい為、期間中の最大値を見直し後の量の見込み及び確保の方策の値としました。量の見込みについて27年度12名、28年度13名、29年度13名、30年度13名、31年度14名の実績でありますが、27年度12名のところ25名、28年度が13名のところ20名、29年度が13名のところ20名を見込んでいます。先ほど見直しについてご説明いたしました期間中の最大値といたしました27年度の25名を30年度、31年度見直し後の量の見込みとしてこちらの方お出ししております。今後の方針などとしましては、施設は金沢市内の施設2ヵ所に委託して実施しております。利用

実績は少ないものの大切なサービスであります。現状の体制で継続したいと思っております。よろしくお願ひします。

(金森部会長)

利用が平成 27 年度 12 名から 25 名と予想以上にはるかに多かったのですが、その後は 20 名ぐらいで推移ですね。これを最大値の実績で 25 に直したい、これについてどうですか？ こういうのがあるということは何で周知されていますか？

(事務局)

子育てナビという冊子に色々なサービス、保育園からショートステイなんかのサービスをまとめたものが市で作られてまして、これをお子さんが生まれたり、転入されたりなどの節目で渡しております。

(金森部会長)

口コミよりもそれを見られる方が多いですか？

(事務局)

いいえ、現実は口コミでしょうね。

(金森部会長)

学校からそういうことは案内しないのですか？ 病気の時はこういう所を利用しましょうとか。私も 10 年前に教員をしていましたが、こういうのがあるということを知りませんでした。

(事務局)

学校からの案内はないと思います。でも、10 年前もこういう支援はありました。

(金森部会長)

そういう意味ではどれだけ周知したらいいのかというの子供が実際病気になったりして大変な状況というのはあるので。

そうしましたら、これで今までのやり方でだいたい、いきましょうということだろうと思います。

(委員)

受け入れることは大丈夫なのでしょうかね？ 人数を増やしたりということは？

(事務局)

定員といふものは設けてなくて、児童養護施設等の空きベッドを利用することが多いので、施設の入所状況によって、この日は受け入れられないこともあります。施設との契約行為で入れていただくということをしています。

(金森部会長)

金沢市の施設にお願いという形をとっています。それは、お金が掛かるのですか？

(事務局)

掛かります。市も負担しております。

所得によって自己負担額も決まってきます。市からの持ち出しもございます。

(委員)

心配したのは 25 名といふにしてしまうと、引き受けないのかなと思つたりしたのですが、別に問題なければ。たとえば、実績は 30 年が 25 名にしたけど、13 名となったとしても問題ないですか？

(事務局)

問題はないです。たぶん担当は安全に最大値 25 名にしとけばどうでしょうかという案だと思います。見込みですので。

(委員)

乖離率といふ意味がわからないのですが？

(事務局)

当初の計画値と 27 年度、28 年度の実績を比較して、28 年度なら 53.8% 多く、153.8% の利用がありました。計画値の方が多い、過去の方策の方が多いということであれば、実績が少なくとも十分確保されているということで見直さないという方法もありますが、この場合逆に実績値の方が多くなっていますので、見直した方がいいかなという考えです。

(金森部会長)

平成 30 年で言えば、13 名を見込んでいたけれど、25 名にするということですね。13 名だと 92.3% 乖離することになるのでこれだけに直したことですね。
はい、良ければ進んでよろしいですね。

(委員)

旧栗田保育園跡地どんなふうに使われるのですか？

(事務局)

現在のところ旧栗田については未定でございます。ただし、今まで社会福祉法人久楽会に放課後児童クラブを運営していただいているという現実なのですが、そちらの法人さんが富陽の学校の前で4クラブ、4月にオープンするという旧栗田のところを今まで協力いただいているのに3/31ですぐ、出て行ってと言えないし、菅原の時も5月までバタバタしていたので、だいだい2カ月くらいは引っ越し期間ということで考えているところでございます。その後については今のところ未定ということでございます。

栗田、新庄の町内からの要望もいただいているものもありますし、現存公園も横に隣接している状況の地域で利活用したときにトイレをお貸しするとか、色々なところで地域との連携もあるのでそこは、継続的にというところで、現段階のところ子育て支援課が管理していくというところで、その役割が完全に終わると、どこが管理課になるか？最終的に財産管理になると、総務課になるのですが、その辺の所管替えもあるかもしれないし、支援課の方での何か考えるとか、色々なところを新年度に入って検討課題かなというところで今のところ未定でございます。

(金森部会長)

何か他にありますか？なければ、程々の時間になりましたので、これで閉めたいと思いますが、それでよろしいでしょうか？では、ご苦労様でした。

(事務局)

本日はありがとうございました。

以上